



## 肺癌治療と最新の気管支鏡検査

徳島県立中央病院 呼吸器内科部長 柿内 聡司

胸部画像で肺癌が疑われた場合、確定診断のために気管支鏡やCTガイド下肺生検、外科的生検などが行われます。この中で最も広く行われている検査は気管支鏡検査です。

気管支鏡検査はX線透視を用いた従来の経気管支肺生検では正診率が40~80%といわれており満足いくものではありませんでした。肺癌治療とくに非小細胞肺癌においてはEGFR変異をはじめ多くの遺伝子異常に対応した分子標的治療薬が開発されており、良悪性の診断、組織型の診断だけでなく、遺伝子検査を行うことが最適な治療を選択するうえで重要となります(表1)。

そのためには気管支鏡検査の正診率を向上させるとともに癌組織の検体採取量を増やす必要があります。これらを解決する方法の一つとして超音波気管支鏡(EBUS)があり、病変の所在によってガイドシース併用気管支腔内超音波断層法(EBUS-GS)と、超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)を使い分けます。

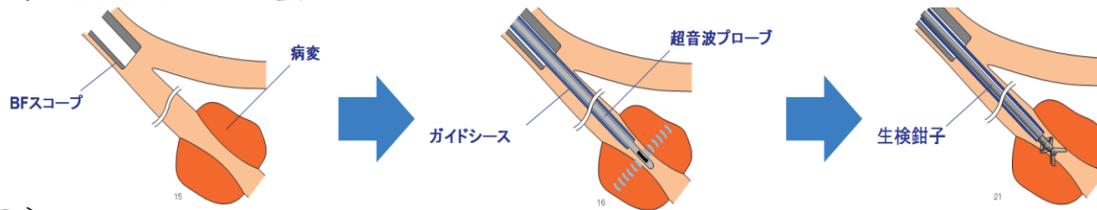
EBUS-GSは内視鏡下で直視できない末梢肺癌の診断に頻用される手技です。ガイドシース内に細径超音波プローブを挿入、病変まで誘導し超音波にて病変に到達したことを確認後、プローブのみを抜去し残したガイドシースに生検鉗子や

(表1) 肺癌の遺伝子変異・転座に対応した分子標的治療薬

一般名	商品名	一般名	商品名
<b>EGFR阻害薬</b>		<b>NTRK阻害薬</b>	
ゲフィチニブ	イレッサ	エヌトレクチニブ	ロズリートレク
エルロチニブ	タルセバ	<b>BRAF/MEK阻害薬</b>	
アファチニブ	ジオトリフ	ダブラフェニブ /トラメチニブ	タフィンラー /メキニスト
ダコチニブ	ビジンプロ	<b>MET阻害剤</b>	
オシメルチニブ	タグリッソ	テポチニブ	テプミトコ
<b>ALK阻害薬</b>		カプマチニブ	タブレクタ
クリゾチニブ	ザーコリ	<b>RET阻害剤</b>	
アレクチニブ	アレセンサ	セルベルカチニブ	レットヴィイE
セリチニブ	ジカディア	<b>KRAS G12C阻害剤</b>	
ロルラチニブ	ローブレナ	ソトラシブ	ルマケラス
ブリガチニブ	アルンブリガ	<b>抗HER2抗体+抗癌剤</b>	
<b>ROS1阻害薬</b>		トラスツグマブデルクスタカ	エンハーツ
クリゾチニブ	ザーコリ		
エヌトレクチニブ	ロズリートレク		

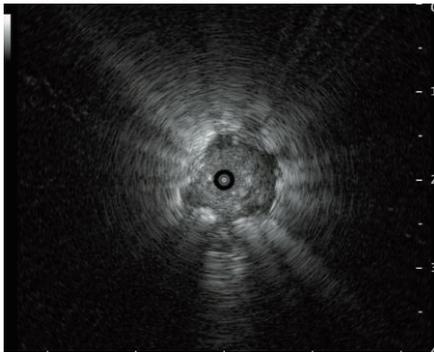
ブラシを挿入することによって、同一箇所から繰り返し生検や擦過が可能となりました（図1、2）。

（図1）EBUS-GS法



（図2）

EBUS-GS法にて描出された末梢小型肺腺癌



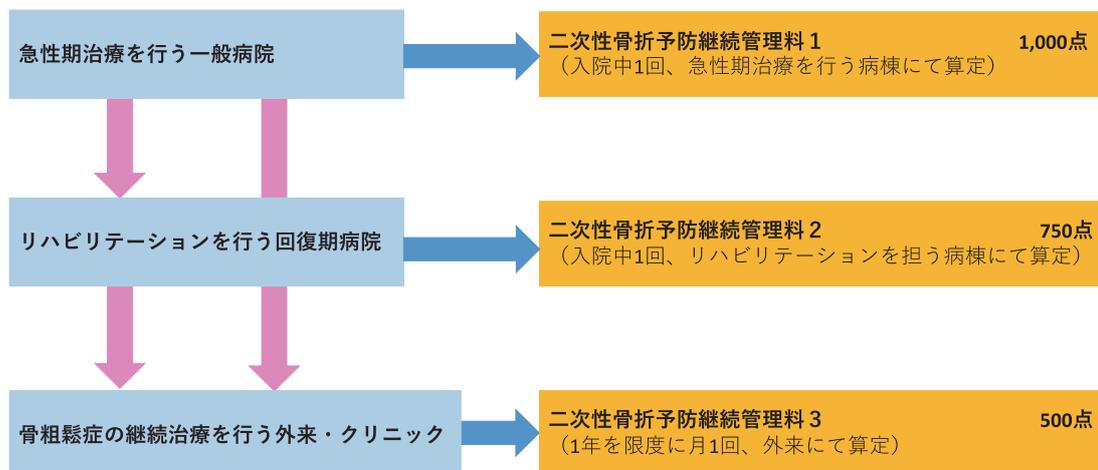
EBUS-TBNA は気管支鏡と超音波が一体となった内視鏡を用いることによって、気管・気管支周囲の病変の針生検を可能とした手技です。原発巣の生検が困難な場合、リンパ節転移からの組織採取に利用されます。

当院はEBUS-GSと、EBUS-TBNAをあわせて年間200件以上を行っている県内随一のHigh volume centerです。肺癌が疑われる患者様がいらっしゃいましたら是非ご相談いただければ幸いです。

## 大腿骨近位部骨折に関わる二次性骨折予防継続管理料について

令和4年度診療報酬改定において、大腿骨近位部骨折患者に対する再骨折予防として「二次性骨折予防継続管理料」が新設されています。大腿骨近位部骨折後の骨粗鬆症の評価と治療を行うことは二次骨折予防に重要です。当院はほぼ全ての患者に骨粗鬆症治療薬を開始または継続しており、「二次性骨折継続管理料1」を算定しております。

回復期病棟、地域包括ケア病棟に転院された場合に、骨粗鬆症に対する評価及び治療を継続していただくと入院あたり1回「二次性骨折継続管理料2（750点）」が算定でき、外来診療においても受傷1年以内に限り月1回「二次性骨折継続管理料3（500点）」が算定可能となっております。（図）転院後も引き続き骨粗鬆症に対する評価ならびに治療をお願いします。 お問い合わせ：088-631-7151 理学療法士 池脇 圭司



図：二次骨折継続管理料について（日本骨粗鬆症学会資料 一部改変）